

知夫村地域福祉活動計画

～地域(みんな)で支えあう暮らしづくり～



知夫村社会福祉協議会

はじめに

国の社会福祉制度の改革により、知夫村においてもその時々
の制度に引きずられながら、平成4年から高齢者生活福祉センターを
拠点として在宅福祉を中心としながら様々な住民本位のサービスに
取り組んできたところです。

急速に進む高齢化に対応する新たな仕組みとして、平成12年、介
護保険制度が出来ました。しかし、発足して10年がたち、公的サー
ビスでは対応できない様々な事例（制度の谷間）や住民の多様なニ
ーズが明らかになってきています。

この地域福祉活動計画は、公的サービスだけでは対応できない地
域の課題の解決に、私達地域住民が取り組む行動計画を提案したも
のです。

最後に本計画策定にあたり、貴重なご意見、ご助言をいただきま
した住民の皆様に対し厚くお礼申し上げます。

知夫村地域福祉活動計画 目次

はじめに	・・・・・・・・・・・・・・・・	- 1 -
知夫村地域福祉活動計画目次	・・・・・・・・	- 2 -
計画の基本理念	・・・・・・・・・・・・・・・・	- 3 -
知夫村地域福祉活動計画の位置づけ	・・	- 4 -
計画の基本的視点	・・・・・・・・・・・・・・・・	- 5 -
計画の基本目標	・・・・・・・・・・・・・・・・	- 6 -
基本計画 基本目標Ⅰ	・・・・・・・・	- 7 - - 8 -
基本計画 基本目標Ⅱ	・・・・・・・・	- 9 -
基本計画 基本目標Ⅲ	・・・・・・・・	- 10 -
知夫村地域福祉活動計画策定委員名簿	・	- 11 -

計 画 の 基 本 理 念

私達が住む知夫村は、近い将来2人にひとりが高齢者となります。

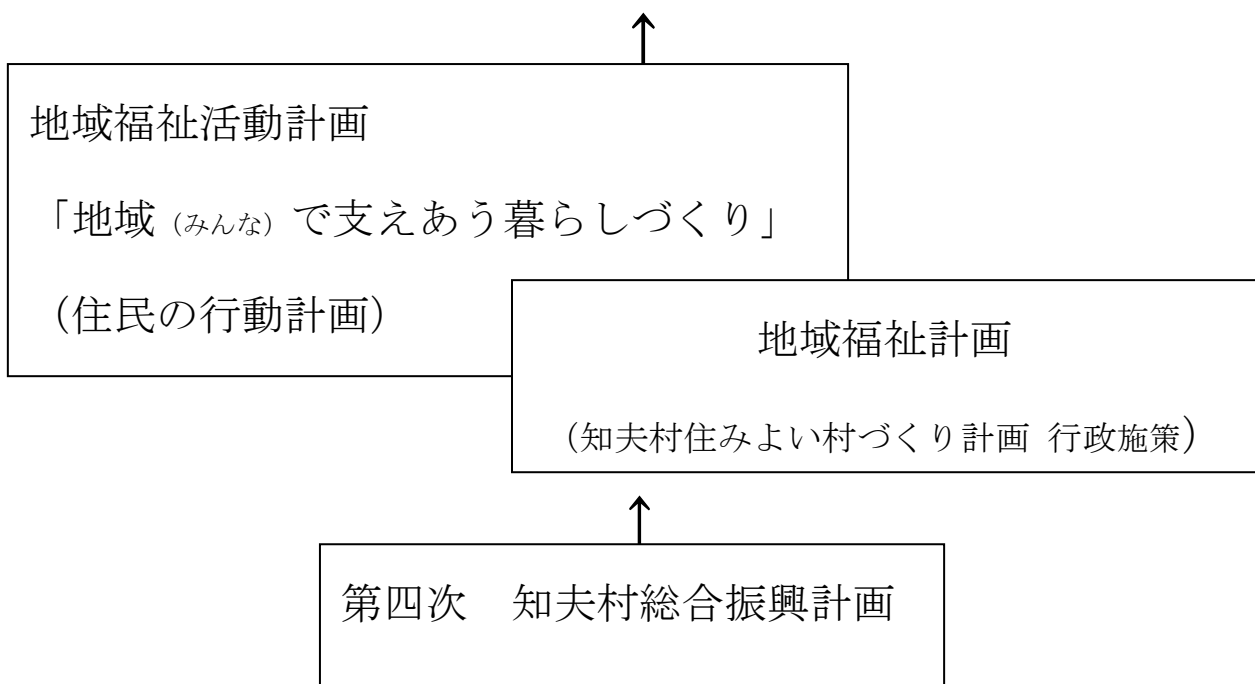
先に行ったアンケート、地区座談会の結果を見ても今の生活には、それなりに満足しているが、将来に対する不安は誰もが感じているように思われます。それでも最後まで知夫村で住みたいという願いもあります。これまで私達は、親子、兄弟がそばにおり近所同士の助け合いもあって暮らしを守ってきて今があります。しかし人口の減少と高齢化が進み、この良き習慣も続けていく事が難しくなっていくのではないかと心配されます。

「安心して知夫里で暮らしたい」この願いを叶えるため今の状態を少しでも長続きさせるためにも「新たな支え合い」による地域づくりが求められていると思います。その思いから本計画は「地域（みんな）で支えあう暮らしづくり」を目標としています。

知夫村地域福祉活動計画の位置づけ



地域住民



<計画の期間>

平成23年4月～平成28年3月までの5年間です。

※ なお、この期間中においても、社会経済情勢の変化等により必要が生じれば、それに応じて部分的変更、見直し、付加等を行うこととします。

策定計画の基本的視点

計画づくりにあたっての基本的視点として次の3つを掲げます。

1、住民のアンケートや地区座談会の声を計画に反映させます。

2、地域（みんな）で支え合う仕組みをつくり、福祉課題に取り組みます。

3、中・長期的な計画を策定します。



計 画 の 基 本 目 標

「みんなの声を計画に反映」、「世代を超えた福祉への取組」

「中、長期的な計画策定」を視点の基盤にしながら地域福祉を推進していきたいと考えます。

そこで、その視点に基づいて、本計画の「基本目標」を次の3つに定めます。

- I 地域（みんな）で支えあう活動に参加します
- II 地域福祉の人材育成と助け合いの仕組みづくりに取り組みます
- III 計画を継続させるための財源の確保に努めます



基本計画

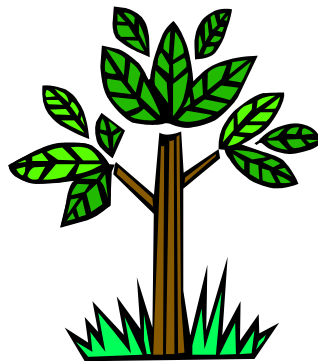
(基本目標 I)

地域（みんな）で支えあう活動に参加します

基本目標 I を達成するために、次のことを計画します。

- ふれあいの場づくり
 - ・各地区ごとに茶話会を老人クラブ、民生児童委員、ボランティアの方と一緒に開催します。
(誰でも気軽に参加できるふれあいサロンやひだまり交流会等)
- 一人ぼっち（孤独）を作らない地域づくり
 - ・回覧板は一声かけて渡しましょう。
 - ・人と人が出会ったら誰もが積極的に声を掛け合いましょう。
 - ・地区での集まりには声を掛け合って出かけましょう。
- 災害時に声をかけ合う地域づくり
 - ・災害が起きた時、安否を確認するため、地区ごとに区長や民生児童委員が持っている情報を活用して災害時の行動マップを作ります。

- 認知症や障がいをもった人を理解し、支え合う地域づくり
 - ・ 誰でもなる可能性のある認知症や障がいを理解するために役場や社協が開催する研修会や講演会に参加しましょう。
(介護者教室、心の健康づくり講演会、人権研修、ふれあい文化祭等)
- 交通の便を良くして、積極的に外出する機会をつくりましょう。
 - ・ 医療機関や買物等に誰でも気軽に行けるよう、老人クラブや社協が中心となって、交通の便をよくするため行政に働きかけましょう。



(基本目標Ⅱ)

地域福祉の人材育成と助け合いの仕組みづくりに取り組みます

基本目標Ⅱを達成するために、次のことを計画します。

○ ボランティア活動の強化

- ・ ボランティアセンターの機能を活性化します。

誰でもボランティア活動に参加できる仕組みをつくるため、職員
の配置を行政に要望します。

○ 老人クラブの活動を支援します

- ・ 村最大の組織である老人クラブの活動に対し、その活動をお手
伝いします。

(各単位クラブの年次計画に基づいた活動のお手伝いをします。)

○ 福祉関係団体間の連携を呼びかけます。

- ・ 行政、地区、老人クラブ、ボランティアセンター、民生児童委
員等との連携を深め、地域にあった支え合いを考える話し合い
の場をつくることとします。(地域福祉活動連絡会(仮称)年1回)



(基本目標Ⅲ)

計画を継続させるための財源の確保に努めます

基本目標Ⅲを達成するために、次のことを計画します。

- 共同募金の配分金を活用します。
 - ・「赤い羽根共同募金」の募金は多くが地域に還元されています。
 - ・募金活動に参加し「地域福祉」に有効に活用していく事とします。
- 助成金を活用します。
 - ・福祉に対する助成事業はたくさんあります。この助成金を活用して、地域の支え合いを応援します。



知夫村地域福祉活動計画策定委員名簿

氏 名	所 属
安藤 和代	知夫村地域福祉活動計画策定委員会 委員長
浪花紀四四	知夫村地域福祉活動計画策定委員会 副委員長
山本富美子	知夫村老人クラブ連合会 会員代表
奥川 光宏	知夫村民生児童委員協議会 副会長
仲 克忠	知夫村社会福祉協議会 代表理事
青柳 精一	知夫村社会福祉協議会 理事
崎 栄三	知夫村社会福祉協議会 理事
井尻 照子	知夫村社会福祉協議会 理事
道畑早希子	知夫村社会福祉協議会 評議員
小浜 清人	知夫村村民福祉課 課長
山本久美子	知夫村村民福祉課 (知夫村地域包括支援センター) 知夫村保健師
渡辺 智彦	知夫村村民福祉課 係長

事務局

鹿島 留里	知夫村社会福祉協議会 事務局長
安藤 優子	知夫村社会福祉協議会 福祉活動専門員